

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
1022	松山市消防協会補助事業	消防局	地域消防推進課	2
1022	防火指導事務	消防局	地域消防推進課	3
1022	みんなの消防フェスタ開催事業	消防局	地域消防推進課	4
1022	松山市女性防火クラブ連合会補助事業	消防局	地域消防推進課	5
1022	幼年少年消防クラブ育成事務	消防局	地域消防推進課	6
1022	防火防災訓練補償等共済事務	消防局	地域消防推進課	7
1022	消防団管理事務	消防局	地域消防推進課	8
1022	消防出初式開催事業	消防局	地域消防推進課	9
1022	消防団員被服貸与事務	消防局	地域消防推進課	10
1022	消防操法大会事務	消防局	地域消防推進課	11
1022	消防団員報酬支給事務	消防局	地域消防推進課	12
1022	消防団施設維持管理事務	消防局	地域消防推進課	13
1022	消防団員等公務災害補償事務	消防局	地域消防推進課	14
1022	消防団員退職報償事務	消防局	地域消防推進課	15
1022	消防団員福祉共済制度補助事業	消防局	地域消防推進課	16
1022	愛媛県消防協会事務	消防局	地域消防推進課	17
1022	消防団車両機械購入事業	消防局	地域消防推進課	18
1022	消防団施設整備・営繕事業	消防局	地域消防推進課	19

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市消防協会補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	松山市消防協会規約		
主な取組	地域消防力の強化		松山市消防協会規約施行細則		
目的・背景	目的:松山市消防協会は、消防団員の品位を向上し、融和親睦を保ち、消防諸施設の改善並びに消防活動の連携強化を進め、消防事業の進歩発展に寄与することを目的としている。 背景:本事業は、松山市消防協会規約(昭和30年)に定められた協会事務を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員、消防職員 内容:松山市消防協会に補助金を交付し、消防に関する研究調査や機器改良、教育訓練等への支援を行うとともに、防火思想の普及啓発活動を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		1,200
予算 (千円)	事業費計	1,200	1,200	1,200					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200	1,200					
決算 (千円)	事業費計	1,200	1,200			主な 取組 内容 【R7】	松山市消防協会へ補助金を支出		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.4		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	消防団支援事業		目標	20	20	20	20	消防団活動が活発に行われたため。	
			実績	30	25				
	現状維持	回	達成率	150%	125%				
成果指標	消防団員数 各年4月1日現在		目標	2,465	2,467	2,470	2,473	積極的な消防団員募集活動等の成果があったため。	
			実績	2,468	2,471				
	単年で増	件	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	消防団活動が活発に行われているとともに、新規入団者数が増加し、消防団員数が増加しているため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業効果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245
------	-----	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	防火指導事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:防火・防災に関する知識や火災発生時の初期対応のほか、自らの命を守る避難行動を習得するため。 背景:火災や南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備えるため、防火・防災教育を受けられる施設として、平成12年度に防災センターを開設した。				
対象・内容	対象:市民 内容:防火・防災思想の普及啓発、防災センターの運営管理や、消防局マスコットキャラクター「はっぴーカバー君」の維持管理を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	防災センター運営に伴う 消耗品代		159
予算 (千円)	事業費計	257	271	2,802			防災教育参加証カード作 成代		44
	国費・県費						防火ポスター表彰者記念 品代(高校生)		19
	市債								
	その他								
	一般財源	257	271	2,802					
決算 (千円)	事業費計	207	241			主な 取組 内容 【R7】	防災センターの運営 地震体験車の試乗 防火ポスターの募集 松山市防火連絡協議会事務局事務		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	207	241						
	(執行率)	81%	89%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項	令和8年度に小規模リニューアルを実施予 定		
	その他	4.2	4.2	3.2					
	合計	4.6	4.6	3.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	防災センター入場者数		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	防災センターの展示品等のマンネリ化	
			実績	4,194	3,467				
	単年で増	人	達成率	105%	87%				
活動 指標	地震体験車の試乗者数		目標	6,000	6,000	—	—	地震体験車の故障により令和8年度以降は未定	
			実績	1,897	6,513				
	単年で増	人	達成率	32%	109%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	ホームページ等を活用した防火広報活動を行っているため。							
課題	防災センターの施設及び地震体験車の更新、代替案等の研究					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	防災センターを小規模リニューアルし運用を継続する。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245
------	-----	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	みんなの消防フェスタ開催事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:多くの市民に防火・防災への関心を高めてもらうとともに、消防団、自主防災組織、女性防火クラブや事業所等が相互に協力し合える体制づくりを図ります。 背景:幼少期から防火・防災教育の機会の創出、地域防災力の連携強化を推し進めるため。				
対象・内容	対象:市民 内容:みんなの消防フェスタを開催し、防火・防災関連ブースのほか、放水やロープ渡り、煙の中の避難など、各種コーナーを体験していただき、防火・防災の啓発を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	ポスター印刷代		66
予算 (千円)	事業費計	123	140	137			参加者記念品代	39	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	123	140	137		市長表彰者記念品代	27		
決算 (千円)	事業費計	115	313			主な 取組 内容 【R7】	みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム 2025の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	115	313						
	(執行率)	93%	224%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項 <td colspan="3" rowspan="3"></td>			
	その他	0.3	0.3	0.3					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	消防フェスタ参加者数		目標	1,000	1,000	1,000	1,000	関係者等に広く声掛けができたため。
			実績	1,000	1,200			
	単年で増	人	達成率	100%	120%			
活動 指標	消防フェスタ来場者数		目標	3,000	3,000	3,000	3,000	SNS、ポスター掲示等の広報活動により広く声掛けができたため。
			実績	4,000	4,000			
	単年で増	人	達成率	133%	133%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム2025を開催し、広く市民への消防思想の普及啓発が行えたため。						
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245
------	-----	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市女性防火クラブ連合会補助事業	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠 法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:各地区・各家庭から火災予防思想の普及を進めることで、市民の防火・防災への関心を高め、防災減災を図ります。 背景:昭和37年消防庁長官通達で、家庭の婦人を対象とした自主的団体結成が勧められました。				
対象・内容	対象:市民 内容:松山市女性防火クラブ連合会に補助金を交付し、園児や児童クラブへの防火防災指導をはじめ消防イベントや松山市総合防災訓練などへの参加、また全国火災予防運動期間中の防火啓発活動などを実施しています。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山市女性防火クラブ連 合会補助金		1,750
予算 (千円)	事業費計	1,750	1,750	1,750					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,750	1,750	1,750					
決算 (千円)	事業費計	1,750	1,750			主な 取組 内容 【R7】	松山市女性防火クラブ連合会事務局事務		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,750	1,750						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.3	0.3	0.3					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	地区研修会参加クラブ 員数		目標	600	600	600	600	女性防火クラブ員同士の積極的な声かけ と魅力ある研修会を実施することができた ため。	
			実績	608	751				
	現状維持	人	達成率	101%	125%				
活動 指標	地区研修会実施地区数		目標	39	39	39	39	実施状況を各地区理事と事務局で管理し、 適切に実施したため。	
			実績	39	39				
	現状維持	地区	達成率	100%	100%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に事務が執行され、目標が達成されているため。							
課題	女性防火クラブ連合会の若手クラブ員の人材育成。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待されている事業成果があげられてる ため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245
------	-----	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	幼年少年消防クラブ育成事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:園児や児童の防火・防災意識の向上を図ります。 背景:昭和37年消防庁長官通達で、幼年少年消防クラブの育成が勧められました。				
対象・内容	対象:園児や児童 内容:防災紙芝居教室や一日消防学校を開催し、防火・防災の知識やスキルを楽しみながら身に付けられるイベントを開催しています。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	幼少年防火啓発用 シール代		62
予算 (千円)	事業費計	119	123	126			一日消防学校 参加記念品代	45	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	119	123	126		防火ポスター表彰者 記念品代	15		
決算 (千円)	事業費計	118	122			主な 取組 内容 【R7】	防災紙芝居読み聞かせ実施 一日消防学校の開催 幼年少年消防クラブ事務局事務		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	118	122						
	(執行率)	99%	99%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	一日消防学校への参加者数		目標	100	100	100	100	学校行事と重なり目標は達成できなかったが、一定の成果は上げられた。	
			実績	45	59				
	単年で増	人	達成率	45%	59%				
活動指標	防災紙芝居教室等開催園数		目標	40	39	39	39	恒例行事として多くの園に認知され、女性防火クラブ員との交流が好評であるため。	
			実績	46	43				
	単年で増	園	達成率	115%	110%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一日消防学校は、学校行事と重なり目標を達成できなかったものの、防災紙芝居教室など広く幼年少年への消防思想の普及啓発を行えたため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待されている成果が挙げられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	市民防火担当	連絡先	926-9245
------	-----	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	防火防災訓練補償等共済事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:防火防災訓練に参加した住民が怪我等をした場合の補償に備えるため。 背景:全国的な共済制度により危険分散するため。				
対象・内容	対象:市民 内容:防火防災訓練災害補償等共済制度に基づき、補償等対象者に損害賠償に対するてん補金を支払います。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	防火防災訓練災害補償 等共済掛金		511
予算 (千円)	事業費計	661	661	661					
	国費・県費								
	市債								
	その他	150	150	150					
	一般財源	511	511	511					
決算 (千円)	事業費計	511	511			主な取組 内容 【R7】	保険の掛金支払い		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	511	511						
	(執行率)	77%	77%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	掛金の支出		目標	1	1	1	1	契約書に基づき掛金を支払った。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	てん補金の支払い		目標	0	0	0	0	本制度を活用する事故は発生していない。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	0%	0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	てん補金の支払い事案の有無に関わらず、事務の継続が必要。							
課題	てん補金の支払い事案が発生した場合には、円滑な事務処理が求められる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も多くの住民に、防火防災参加していただくために必要。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団条例、松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団業務の円滑化を図ることを目的とする。 背景:消防組織法第6条～第9条に定められた消防団事務を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員、消防職員 内容:消防団員の訓練や研修会・会議等出席による市内旅費の支給 消防団協力事業所表示証の購入 緊急時の船舶や重機の使用料の支払い その他消防団活動に必要な経費の支払い				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団管理システムパッケージ使用料		792
予算 (千円)	事業費計	2,405	2,678	2,867			消防団員市内旅費		258
	国費・県費						消防団員事務連絡用郵送料		440
	市債								
	その他	360	360	360					
	一般財源	2,045	2,318	2,507					
決算 (千円)	事業費計	2,431	3,115			主な 取組 内容 【R7】	・消防団管理システムパッケージ継続使用 ・消防団員市内旅費支給		
	国費・県費								
	市債								
	その他	4	170						
	一般財源	2,427	2,945						
	(執行率)	101%	116%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.5		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	消防団協力事業所数		目標	60	60	61	62	基準に該当する2事業所を協力事業所に認定した。	
			実績	58	60				
	単年で増	事業所	達成率	97%	100%				
成果指標	消防学校入校者数		目標	20	20	20	20	目標人数を上回る入校申し込みがあり、希望者を入校させることができた。	
			実績	38	28				
	単年で減	人	達成率	190%	140%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	目標達成によって、消防団業務の円滑化を図ることができたため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防出初式開催事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:市民と消防関係団体が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」を誓い合うとともに、関係団体の団結力、規律、士気の高揚と市民への消防思想の普及啓発を行うことを目的とする。 背景:江戸時代の町火消の「出初」「初出」に由来する伝統行事を伝承するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員、消防職員、市民 内容:例年1月、堀之内公園で消防関係機関が一堂に会し、「災害に強い安全なまちづくり」に向け、市民への消防思想の普及啓発の実施				

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防出初式会場設営業務委託料		2,471
予算 (千円)	事業費計	3,181	3,437	3,596			竹梯子演技関係消耗品ほか	284	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,181	3,437	3,596		島しょ部消防団員出初式参加に伴う市内旅費	250		
決算 (千円)	事業費計	3,404	3,336			主な 取組 内容 【R7】	令和8年松山市消防出初式の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,404	3,336						
	(執行率)	107%	97%						
人役	正規職員	0.6	0.4	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和●年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	広報活動		目標	10	10	10	10	積極的なSNSの活用に加えて、テレビ・ラジオ等での広報活動を行ったため。
			実績	7	17			
	単年で増	回	達成率	70%	170%			
成果指標	出初式参加者数(消防・防災関係機関等)		目標	1,100	1,100	1,100	1,100	関係機関の積極的な参加のため。
			実績	1,123	1,368			
	単年で増	人	達成率	102%	124%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	令和8年消防出初式を開催し、市民への消防思想の普及啓発や消防団のPRを行ったことで、消防団員の増加につながった。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員被服貸与事務	事業 性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業 区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠 法令	消防組織法第23条第2項 松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員に必要な被服を貸与し、消防活動時の安全を確保することを目的とする。 背景:消防組織法に定められた消防団事務(服制)を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員 背景:災害現場などで安全に活動するために必要な被服の貸与				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団員用新基準活動 服購入費		11,770
予算 (千円)	事業費計	11,826	26,369	27,745			消防団員用長靴購入費		6,089
	国費・県費						消防団員用法被購入費		2,035
	市債								
	その他	220	225	250					
	一般財源	11,606	26,144	27,495					
決算 (千円)	事業費計	11,865	26,530			主な 取組 内容 【R7】	現場活動等に必要な被服等を消防団員に 貸与する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	206	198						
	一般財源	11,659	26,332						
	(執行率)	100%	101%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.5		特記 事項			
	その他	0.3	0.3	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	新基準活動服配備数		目標	150	500	500	500	令和7年度から3か年計画で財源を確保し、購入したことで新基準活動服への移行を進めることができた。	
			実績	167	500				
	単年で増	着	達成率	111%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的に貸与できたため。							
課題	全消防団員に、新基準活動服が貸与できていない。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和7年度から3か年で全消防団員へ貸与する計画で進めているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防操法大会事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員の火災対応力の向上を目的とする。 背景:消防操法大会を適正に開催するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員 内容:隔年で市大会の開催 市大会優勝チームが翌年の県大会に出場する際に必要なホース等の物品を購入 市消防団が県大会で優勝した場合に全国大会出場に係る旅費等の支給				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	出場団員の被服ほか		779
予算 (千円)	事業費計	1,761	2,309	2,801			会場設営業務委託料	429	
	国費・県費								
	市債								
	その他	273		273					
	一般財源	1,488	2,309	2,528		冷房設備使用料ほか	326		
決算 (千円)	事業費計	57	1,949			主な 取組 内容 【R7】	第36回松山市消防操法大会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	57	1,949						
	(執行率)	3%	84%						
人役	正規職員	0.6	0.4	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	市消防操法大会出場 チーム数		目標	開催なし	18	開催なし	18	出場を希望する分団が多かったため。	
			実績		19				
	現状維持	チーム数	達成率		95%				
成果指標	消防操法訓練参加人数		目標	140	3,000	140	3,000	出場分団が意欲的に訓練に取り組んだため。	
			実績	726	3,197				
	単年で増	人	達成率	519%	107%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山市消防操法大会に向け、多くの消防団員が訓練に参加し、消火活動の技術向上が図られたため。							
課題	特になし。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	089-926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	--------------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員報酬支給事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第23条第1項 松山市消防団条例、松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員に対し、その労苦に報いるために報酬を支給し、地域の防火防災体制を維持することを目的とする。 背景:消防組織法第23条第1項、松山市消防団条例、松山市消防団規則に定める事項を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員 内容:災害等に出動した場合の出動報酬、消防団活動全般に対する団員報酬を支給するとともに、車両等の管理者にポンプ管理報酬を支給				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	団員報酬		85,442
予算 (千円)	事業費計	172,498	172,498	168,921			出動報酬	62,131	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	172,498	172,498	168,921		ポンプ管理報酬	8,399		
決算 (千円)	事業費計	151,875	155,971			主な取組 内容 【R7】	消防団員に対し、団員報酬、出動報酬、ポン プ管理報酬を支給する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他		268						
	一般財源	151,875	155,703						
	(執行率)	88%	90%						
人役	正規職員	0.5	0.3	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

3.事業評価(検証・改善)【CHECK・Action】									
種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	対象者への適正な支給率		目標	100	100	100	100	報酬支給事務を適正に執行したため。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	団員に対して適正に報酬支給を行ったため。							
課題	特になし。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団施設維持管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団の活動拠点となる消防ポンプ蔵置所や、消防団車両の維持管理を適正に行うことを目的とする。 背景:松山市消防団規則に定める事項を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団ポンプ蔵置所(94か所)、消防団車両(113台)など 内容:消防車両の法定点検、修繕が必要な車両・資機材の修理、消防ポンプ蔵置所の維持管理を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防車両の法定点検料		4,538
予算 (千円)	事業費計	17,793	16,697	17,350			消防団施設の水道光熱費		4,222
	国費・県費	1,500	1,300	1,300			消防車両・資機材の修繕料		2,369
	市債								
	その他	256	221	194					
	一般財源	16,037	15,176	15,856					
決算 (千円)	事業費計	19,917	17,757			主な 取組 内容 【R7】	消防車両の法定点検、修繕が必要な車両、資機材の修理や、消防ポンプ蔵置所の維持管理に係る経費の支出を行う。		
	国費・県費	1,782	1,300						
	市債								
	その他	172	208						
	一般財源	17,963	16,249						
	(執行率)	112%	106%						
人役	正規職員	0.5	0.3	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	要修繕施設の対応件数		目標	—	—	—	—	施設維持管理事務を適正に執行したため。	
			実績	78	95				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	消防団施設を適切に維持管理したことにより、長寿命化が図られたため。							
課題	特になし。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員等公務災害補償事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第24条、松山市消防団員等公務災害補償条例 松山市消防団員等に係る損害補償の支給等に関する規則他		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員及び消防作業従事者等が消防活動で負傷した場合、本人またはその家族の生活の安定を守り、福祉を向上させることを目的とする。 背景:消防組織法第24条に定める事項を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員及び消防作業従事者等 内容:公務災害補償の対象となる者の補償を確実にを行うため、消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金の支払いを行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金		6,636
予算 (千円)	事業費計	8,639	8,637	8,637			消防団員等への災害補償費		1,220
	国費・県費								
	市債								
	その他	2,001	2,000	2,000					
	一般財源	6,638	6,637	6,637					
決算 (千円)	事業費計	8,368	7,856			主な 取組 内容 【R7】	消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支払うとともに、公務災害を被った消防団員等に、診療費や診察に係る移送費等を支出する。 また、災害補償費支出分について基金から歳入を受ける。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	0	2,951						
	一般財源	8,368	4,905						
	(執行率)	97%	91%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	公務災害補償を実行した割合		目標	100	100	100	100	適正な補償対応事務が執行されたため。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	補償対応事務を適正に執行することで、本人及び家族の生活を守り、消防団員の福利厚生の上向上に繋がっているため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員退職報償事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第25条、松山市消防団条例、松山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員が退職する際に、その労苦に報い退職報償金を支給し福祉を充実させることを目的とする。 背景:消防組織法第25条に定める事項を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:退職する消防団員 内容:退職報償金の支給				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金		44,563
予算 (千円)	事業費計	89,198	91,195	109,539			消防団員への退職報償金		38,754
	国費・県費								
	市債								
	その他	44,634	46,631	64,975					
	一般財源	44,564	44,564	44,564					
決算 (千円)	事業費計	86,789	83,317			主な 取組 内容 【R7】	消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支払うとともに、退職した消防団員へ退職報償金を支出する。 また、退職報償金支出分について基金から歳入を受ける。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	36,378	38,420						
	一般財源	50,411	44,897						
	(執行率)	97%	91%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	退職金の適切な処理件数割合		目標	100	100	100	100	退職者からの請求後、速やかに事務が執行されている。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	報償支給事務が適正に執行され、消防団員の福利厚生の実現につながっているため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	089-926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	--------------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団員福祉共済制度補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員が死亡し、又は事故及び疾病等により入院した場合に「弔慰金」「入院見舞金」「障害見舞金」などを支給する消防団員等福祉共済の掛金を半額補助し、消防団員等の福祉の増進を目的とする。 背景:地域の安全安心を担っている消防団員等が、安心して消防防災活動を行うために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員及びその家族 内容:公私を問わず、消防団員が死亡・入院もしくは障害の状態となった場合、遺族援護金、入院見舞金、障害見舞金等を給付する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団員等福祉共済制 度掛金の補助金		3,170
予算 (千円)	事業費計	3,368	3,359	3,356					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,368	3,359	3,356					
決算 (千円)	事業費計	3,174	3,170			主な 取組 内容 【R7】	消防団員等福祉共済制度掛金の半額を補 助金として支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,174	3,170						
	(執行率)	94%	94%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.4		特記 事項			
	その他	0.3	0.3						
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	申請に対する適正な事務 執行率		目標	100	100	100	100	適正な事務対応を行ったため。
			実績	100	100			
	現状維持	%	達成率	100%	100%			
活動 指標	福祉共済の適切な支給の 執行率		目標	100	100	100	100	適正な事務対応を行ったため。
			実績	100	100			
	現状維持	%	達成率	100%	100%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	補助金の交付及び福祉共済申請事務が適正に執行され、消防団員の福利厚生の充実につながっているため。						
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愛媛県消防協会事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団員、消防職員及び県民に対して広く防火防災に係る消防知識技能の向上等を図るとともに、もって社会の災厄を防止し、人類共同の福祉の増進に寄与することを目的とする。 背景:公益財団法人 愛媛県消防協会普通会員に対する(消防団員・消防職員・一部事務組合)負担金の負担割合に関する要綱に基づき年会費を支出し、県内の防災力向上を図るために開始した。				
対象・内容	対象:消防団員、消防職員 内容:消防団員、消防職員及び県民への防火防災思想の普及啓発 地域防災力を向上させるための事業を行う公益財団法人愛媛県消防協会に対する負担金の支払い 関連する事業に参加する消防団員、消防職員への旅費の支給				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	非常備消防費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	愛媛県消防協会年会費		2,582
予算 (千円)	事業費計	2,869	2,921	3,693			全国女性消防団員活性化大会参加に係る旅費		289
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,869	2,921	3,693					
決算 (千円)	事業費計	2,874	2,872			主な取組 内容 【R7】	愛媛県消防協会へ負担金を支出し、愛媛県消防大会の開催、民間防火組織の表彰等を行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,874	2,872						
	(執行率)	100%	98%						
人役	正規職員	0.4	0.2	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	愛媛県消防協会行事参加者数		目標	100	100	100	100	愛媛県消防団広域連携強化訓練の参加者の増加や、正副消防団長等研修会が開催されたため参加者数が増加したものの。	
			実績	108	132				
	現状維持	人	達成率	108%	132%				
成果指標	中予合同訓練参加者数		目標	5	5	5	5	愛媛県消防団広域連携訓練が中予合同訓練を兼ねていたため、参加者が増加したものの。	
			実績	8	69				
	単年で増	人	達成率	160%	1380%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に事務が執行され、消防団員の知識、技術の向上が図られたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防団車両機械購入事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
1022					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		○	－	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団車両の更新や資機材を配備し、消防団の消防救助能力を維持強化することを目的とする。 背景:松山市消防団規則に定められた消防団事務を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防団車両(113台)、小型動力ポンプ(23台)、自動二輪車(5台)、資機材など 内容:車両更新計画に基づき老朽更新を行うとともに、必要な資機材の配備を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団車両两台購入費		83,512
予算 (千円)	事業費計	160,138	90,759	65,849			小型動力ポンプ購入費		5,280
	国費・県費								
	市債	159,500	90,300	65,500					
	その他								
	一般財源	638	459	349					
決算 (千円)	事業費計	126,999	89,093			主な 取組 内容 【R7】	老朽化した消防団車両6台及び小型動力ポンプ2台を更新した。		
	国費・県費								
	市債	126,500	88,600						
	その他								
	一般財源	499	493						
	(執行率)	79%	98%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	消防団車両更新台数		目標	8	6	4	8	車両購入事務を適正に執行したため。	
			実績	8	6				
	単年で増	台	達成率	100%	100%				
成果指標	救助資機材搭載車両配備率		目標	57	63	67	75	計画的に消防団車両の更新ができた。	
			実績	57	63				
	累計で増	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画どおり車両更新ができたため。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待される事業成果があげられているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	地域消防推進課	担当G	消防団担当	連絡先	926-9229
------	-----	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名 1022	消防団施設整備・営繕事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	7:その他
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		—	—	
施策	消防・救急・救助体制の整備	根拠法令	消防組織法第6条～第9条 松山市消防団規則		
主な取組	地域消防力の強化				
目的・背景	目的:消防団の活動拠点である消防ポンプ蔵置所等の経年劣化に伴う不良箇所等を適正に改修・整備することを目的とする。 背景:松山市消防団規則(昭和39年)に定められた事務(施設の整備)を適正に執行するために開始した。				
対象・内容	対象:消防ポンプ蔵置所等 内容:消防ポンプ蔵置所等の営繕工事を実施				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	消防団施設の営繕工事費		3,014
予算 (千円)	事業費計	3,200	3,200	16,743					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,200	3,200	16,743					
決算 (千円)	事業費計	7,388	3,085			主な 取組 内容 【R7】	消防団施設の営繕工事等		
	国費・県費								
	市債	4,500							
	その他								
	一般財源	2,888	3,085						
	(執行率)	231%	96%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】									
種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	要修繕施設の適切な営繕 工事の割合		目標	100	100	100	100	施設営繕事務を適正に執行したため。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設の営繕事務を適切に行い、消防施設の長寿命化につなげたため。							
課題	特になし。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待される事業成果があげられているため。